

生活雑排水処理手数料の改定案

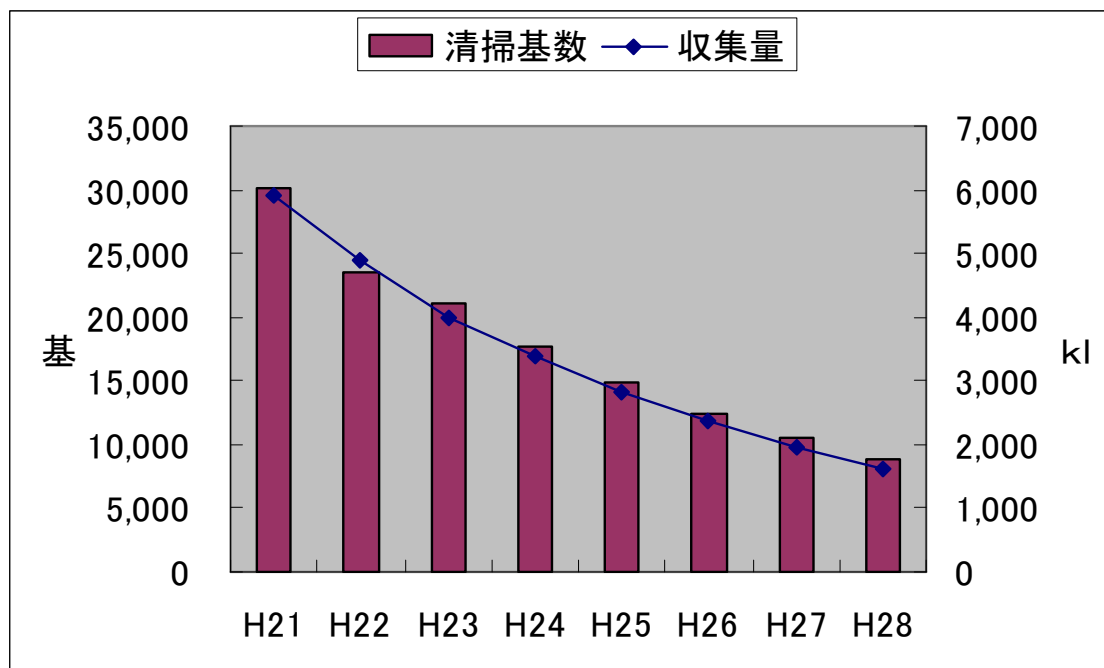
手数料の現状と目標①

1

現状

⇒ 清掃基数と収集量の減少

【収集量の推移】



◆ H21～H24は実績値、
H25以降は推計値

◆ 直近3カ年の前年比
の平均値から推計

◎ 収集量の減少により許可事業者の経営が厳しい。(減車は限界)

目標

⇒ ◎ 河川の水質汚濁防止を継続する
◎ 現行の収集体制を維持する

手数料の現状と目標②

2

現状

⇒清掃基数減少により厳しい経営状況

※1基当たりの収集原価＝収集経費÷清掃基数

◎改定時

H23改定時 収集量をH21実績値で積算

◆清掃基数 30,162基 収集原価 2,714.4円

◎実績

収集量をH23～H25の実績平均で積算(H25見込み)

◆清掃基数 17,889基 収集原価 4,576.7円

(△40.69%)

(+68.61%)

目標

⇒許可事業者の業務安定化

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
清掃基数(基)	30,162	23,554	21,033	17,676	14,813	12,413	10,402	8,717
	H26～H28平均値					10,511		

◎あらかじめH26～H28の平均清掃基数（推計値）で

原価計算する。（収集量の変動考慮）

原価計算①

積算単価等

※給与月額＋賞与は、厚生労働省の賃金構造基本統計調査データによる。(H24.4.1現在)

◆給与月額288,200円＋賞与1.8ヶ月

(給与月額に諸手当含む、平均年齢44.7歳)

参考：許可事業者⇒給与月額151,000円～401,000円、賞与1.4ヶ月～2.9ヶ月

◆運転手・作業員 1台に1.21人乗車

※許可事業者の平均

◆事務員 1台当たり0.25人

※許可事業者の平均

◆管理経費 11%⇒13%

※収集場所の散在化等を考慮

原価計算②

1台・1ヶ月当たりの収集経費

(税抜き)

科目	金額(円)	構成比	内訳
① 人件費	540,228	51%	給料・賞与・諸手当・社会保険料等
② 福利厚生費	26,973	3%	退職積立金・被服費等
③ 車両費	245,323	23%	車両減価償却費・公租公課・保険料等
④ 流動費	126,543	12%	修繕費・燃料費・消耗品費等
管理経費	122,079	12%	事務諸経費(①～④合計×13%)
	1,061,146	100%	

原価計算③

1基当たり収集原価

(税抜き)

	1台1ヶ月当たり 収集経費(円) A	車両台数 B	稼働率 C	実台数 D=B×C	年間収集経費(円) E=A×D×12	年間収集 基数(基) F	収集原価(円) G=E/F	改定率
改定案	1,061,146	10	31.14%	3.11	39,601,969	10,511	3,767.7	38.80%
H23改定時	1,137,592	10	60.00%	6.00	81,906,624	30,162	2,714.4	4.01%
H20改定時	1,764,259	13	54.62%	7.10	150,314,867	57,599	2,609.7	2.83%

※車両台数は保有台数

※稼働率は、車両毎の長野市分業務割合、稼働日数割合から算出

$$1,061,146円 \times 12ヶ月 \times 3.11台 \div 10,511基$$

$$= 3,767.7円 \quad +38.80\%$$

現行 = 2,714.4円

負担割合の比較(1)

消費税率改正なし

(税込み)

浄化槽規模 (容量)	負担の区分	H20改定時		H23改定時		改定案1		改定案2	
		金額(円)	割合	金額(円)	割合	金額(円)	割合	金額(円)	割合
100ℓ未満	手数料(市民負担)	529	41%	550	41%	763	41%	562	30%
	補助金(公費負担)	758	59%	786	59%	1,091	59%	1,292	70%
	合計	1,287	100%	1,336	100%	1,854	100%	1,854	100%
100ℓ以上 150ℓ未満	手数料(市民負担)	688	41%	716	41%	993	41%	731	30%
	補助金(公費負担)	984	59%	1,023	59%	1,420	59%	1,682	70%
	合計	1,672	100%	1,739	100%	2,413	100%	2,413	100%
150ℓ以上 200ℓ未満	手数料(市民負担)	846	41%	880	41%	1,221	41%	899	30%
	補助金(公費負担)	1,210	59%	1,260	59%	1,749	59%	2,071	70%
	合計	2,056	100%	2,140	100%	2,970	100%	2,970	100%
200ℓ以上 50ℓごとの 加算額	手数料(市民負担)	158	41%	165	41%	229	41%	168	30%
	補助金(公費負担)	226	59%	237	59%	328	59%	389	70%
	合計	384	100%	402	100%	557	100%	557	100%
1基当たり収集原価(税抜き)の上昇率		+2.83%		+4.01%		+38.80%			
手数料改定率		+2.83%		+4.01%		+38.80%		+2.19%	

◆改定案1 = 1基当たり収集原価の改定率+38.8%により手数料を算出

◆改定案2 = し尿と同じ改定率+2.19%で手数料を算出

負担割合の比較(2)

消費税率改正あり

(税込み)

浄化槽規模 (容量)	負担の区分	H20改定時		H23改定時		改定案3		改定案4	
		金額(円)	割合	金額(円)	割合	金額(円)	割合	金額(円)	割合
100ℓ未満	手数料(市民負担)	529	41%	550	41%	785	41%	577	30%
	補助金(公費負担)	758	59%	786	59%	1,123	59%	1,331	70%
	合計	1,287	100%	1,336	100%	1,908	100%	1,908	100%
100ℓ以上 150ℓ未満	手数料(市民負担)	688	41%	716	41%	1,022	41%	751	30%
	補助金(公費負担)	984	59%	1,023	59%	1,461	59%	1,732	70%
	合計	1,672	100%	1,739	100%	2,483	100%	2,483	100%
150ℓ以上 200ℓ未満	手数料(市民負担)	846	41%	880	41%	1,257	41%	924	30%
	補助金(公費負担)	1,210	59%	1,260	59%	1,799	59%	2,132	70%
	合計	2,056	100%	2,140	100%	3,056	100%	3,056	100%
200ℓ以上 50ℓごとの 加算額	手数料(市民負担)	158	41%	165	41%	236	41%	173	30%
	補助金(公費負担)	226	59%	237	59%	338	59%	401	70%
	合計	384	100%	402	100%	574	100%	574	100%
1基当たり収集原価(税抜き)の上昇率		+2.83%		+4.01%		+38.80%			
手数料改定率		+2.83%		+4.01%		+42.77%		+5.00%	

◆改定案3＝改定案1に消費税増税分3%を加えて手数料を算出

◆改定案4＝改定案2に消費税増税分3%を加えて手数料を算出

改定手数料(案)

改定手数料

◎大幅な引き上げになることから、下水道使用料との均衡を考慮し、し尿処理手数料と同程度の改定率とする。

(単位円 税込み)

浄化槽規模 (容量)	現行	消費税率改正なし		消費税率改正あり	
		改定額	改定率	改定額	改定率
100ℓ未満	550	562	2.19%	577	5.00%
100ℓ以上150ℓ未満	716	731	2.19%	751	5.00%
150ℓ以上200ℓ未満	880	899	2.19%	924	5.00%
200ℓ以上50ℓごとの加算額	165	168	2.19%	173	5.00%

※し尿処理手数料 改定率 消費税率改正なし2.19%、消費税率改正あり5.00%

参考：下水道使用料との比較

現行 下水道使用料の95.64% ◆消費税率5%で比較

改定案 下水道使用料の97.74% ◆消費税率5%で比較

◎下水道使用料2か月分

◆3人世帯43m³

⇒ 7,304円

◎生活雑排水手数料2か月分 +し尿処理手数料2か月分

◆年4回 × 2/12 × 899円(改定案) = 599円 ◆3人世帯20単位 × 327円 = 6,540円

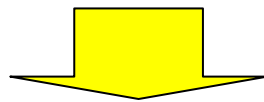
⇒ 7,139円

※最多簡易浄化槽規模(容量)150ℓ~200ℓ

今回の改定について

◎収集量の減少による収集コストの増
⇒大幅な市民負担の上昇を軽減する。

◎適正な維持管理・安定した収集体制を確保
⇒現在の収集体制を維持する。



更なる行政支援の必要性